

保育士の低賃金のカラクリ 委託費の「弾力運用」追究

21 日から開かれている区議会決算特別委員会で、日本共産党北区議員団は、保育士の賃金を低く抑えている委託費「弾力運用」のしくみを追及しています。

初日、総括質疑に立ったせいの恵子議員は、低賃金といわれる保育士でも、公立保育園と私立認可保育園の「公私格差」があると指摘。北区では、初任給でも約 5 万円、10 年のキャリアで約 6 万円の差がつくことを明らかにしました。

「弾力運用」で賃金を圧縮

さらに、その背景には、区が保育園の運営のために支給している委託費のうち、最大 4 分の 1 までを運営費以外の用途に流用できる「弾力運用」というしくみがあるとのべ、区の担当者もこれを認めました。

国は、委託費の 8 割を人件費に充てることを想定していますが、北区の株式会社立保育園では、人件費割合は 5 割強に過ぎません。

27 日、福祉費の質疑ではののやま研議員が、党文京区議団の調査で明らかになった弾力運用の実態を紹介。委託費の一部を本部が吸い上げ、他の保育園の開設費や同法人が運営する介護施設の運営費にまで流用していました。

ののやま議員は、自民公明政権が、2000 年に株式会社などへの保育園参入を認め、その後も委託費の流用を拡大する規制緩和が行われてきたことを紹介し、「国に弾力運用の見直しを求めるとともに、区として人件費 8 割を保障すべき」と求めました。

国の想定	私立認可園
人件費	人件費
事業費	事業費
管理費	管理費
	その他

※事業費には給食費、保育材料費などが、管理費には業務委託、賃借料などが、その他には積み立てや他施設への資金流用などがある

● ご相談はお気軽に
090-9240-8066



子ども施設を増やせ 削減目標見直し求める

区は 25 館あった児童館を 15 ～ 17 の子どもセンターに再編するとして、これまでに 5 館の児童館を統廃合してきました。

ののやま議員は、8 年前に策定したセンター配置方針の時より乳幼児人口が 1.7 倍にも増加していることを示し、「削減目標を見直して施設を増設せよ」と訴えました。

指定喫煙場所改善

区内主要駅に設けられたパーテーション型の指定喫煙場所に「煙がもれる」、「外に出て吸っている人がいる」など苦情が多く寄せられています。

ののやま議員は、パーテーションの改善とともに、他自治体が導入を始めている密閉のコンテナ型喫煙所への変更を検討するよう区に求めました。

憲法違反の「国葬」やめよ

「戦争はイヤだ! 北区ネット」が北区大集会とパレード

23 日、赤羽公園で、「戦争はイヤだ! 北区ネット」が安倍元首相の「国葬」中止を求める北区大集会を開催。200 人を超える参加者が駆けつけ、集会終了後には赤羽駅周辺をパレードしました。

